

**第二次東大阪市立図書館基本構想 素案の
パブリックコメントで寄せられた意見とそれに対する本市の考え方**

意見 番号	素案の 該当ページ	意見の概要	本市の考え方
1	全体	永和図書館へよく行くが、自転車置き場の幅が狭く置きにくい。入口付近の見た目は気にしないので、自転車置き場を増やして欲しい。正面玄関の右横にスペースあるので、自転車置き場があっても良いと思っている。	以前から、駐輪場についてはご意見をいただいております。近隣にある駐輪場の活用を検討しましたが、利用条件等の課題があり、図書館利用者用の駐輪場として活用するには至っておりません。引き続き、利用環境の改善に向け、検討してまいります。
2	全体	子ども連れでも入りやすい環境にしてほしい。静かにさせないと思うと連れて行きにくい。静かな空間を求められる方には自習室のような場所を別に設けてほしい。外が見えるような開放的な空間にしてほしい。	これまで、四条図書館では子ども連れの保護者が気兼ねなく過ごせる「ベビータム」の実施など子育て支援に力を入れてきました。今後は、児童相談所等との複合施設を予定していることから、「子ども」というテーマをより強く推し進めていく予定です。ご意見も参考に、新四条図書館の整備に取り組んでまいりたいと考えております。
3	50～51 68～69	四条図書館は、児童相談所等との複合施設になることが決まり、子ども中心の図書館になると聞いている。子ども乗せ用電動アシスト付き自転車は、大きくて重たいので、駐輪場は立体でなく平面にしてほしい。 キッズスペースを部屋として区切って、他の来館者に気兼ねなく利用できるようにしてほしい。 静かに読書や自習ができるように、自習室を作ってほしい。できれば個別にパーティションがあればよい。 児童相談所を人目を気にせず利用できるようにするため、入り口は図書館で、奥に児童相談所を作ってほしい。 外観、内装を明るく開放的にデザインして、大人も子どもも入りやすい建物にしてほしい。 お話を始め、大人も子どもも楽しめるいろいろなタイプのボランティアが定期的に活動する場を設けてほしい。	児童相談所等と四条図書館の複合施設について、ご意見も参考に関係部局と協議しながら、誰もが訪れたいくなる図書館をめざして整備してまいります。また、ボランティア団体との連携を今後も引き続き行い、多様な人々の交流を促す事業を実施するよう検討いたします。
4	50～51 68～69	新しい図書館に求めること ・市民すべての公共福祉の役割を持つものとする ・生活弱者や障がい者が心配せず気軽に集える場にする ・老若男女ジェンダーレスの図書館にする ・図書館に入りたい思いがあっても、入りづらい雰囲気がある。人と知り合い、ちょっとしたおしゃべりができて、コーヒーなども味わえる空間があると楽しい ・ブックスタートの精神、シェアボックスが広がっていくよう、あたたかい演出が必要 ・ボランティア団体への参加市民を育てるための他図書館見学や講師を招いての学習会を年2回開催 ・司書資格又は同等の力量がある人がカウンターに必要 ・広さは可能な限り広いほうが良い ・駅から近いところで子どもも足の悪い人も安全に通えるところにする ・旭町に図書館があった時は子どもたちがたくさん来ていたので、新しい図書館は人の集まりやすい所につくる。 ・1階の場合も複数階となる場合もお年寄りや障がい者に配慮した建物とする ・子どものスペースとおとなのスペースをわかりやすくして、子どもがのびのび、大人も目的を果たせる場づくりをする ・トイレの数は必要数を検討する ・乳幼児が安全に過ごせるじゅうたん敷の部屋を必ず設ける ・よみ聞かせや音楽とのコラボが可能な防音の部屋 おとな用(100人) 子ども用(40人以上)を設ける ・書庫は地下につくり可動式の棚にする ・シニアがゆっくりくつろいで読書できる椅子・机が20セットほしい ・子ども用の椅子・机が必要 ・ソファがあるといい ・ボランティア団体が練習や控えのために使える部屋が必要 ・ボランティア団体の棚があるとよい ・駐車スペース、駐輪スペースが無料で必要 ・緑や花がある景観がよい場所にする。ベンチなど設置する ・屋外でも読書できるスペースがあるとよい ・まわりに子どもが遊べるスペースがあるとよい ・授乳等のプライバシーを保てる場がほしい ・催しが一目でわかる掲示板が必要	新四条図書館について、誰もが訪れたいくなる図書館をめざし、サービスの実施や閲覧席などの配置について検討してまいります。また、施設づくりについては児童相談所等との複合施設となりますので、ご意見も参考に関係部局と協議しながら、整備してまいります。